ISベース柱脚工法設計・施工標準図
(SPT:角形鋼管用 保有耐力接合タイプ)

一般財団法人 日本建築センター 鋼構造評定委員会評定 BCJ評定－ST0282-03（2023年10月20日）

国土交通大臣認定番号（アンカー用ボルトセット） ※（ ）はミルメーカーと加工工場を示す。			
MBLT-0116	M24～M48（朝日工業・アイエスケー中島工場）	MBLT-0180	M24～M48（朝日工業・アイエスケー前橋工場）
MBLT-0144	M30～M48（JFE条鋼・アイエスケー中島工場）	MBLT-0181	M30～M48（JFEスチール・アイエスケー前橋工場）
MBLT-0164	M52～M76（JFE条鋼・アイエスケー前橋工場）		

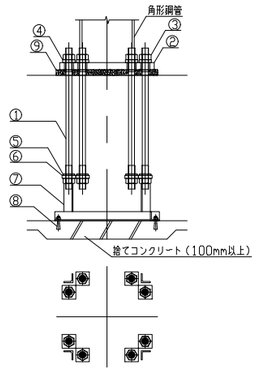
適用柱材（F値=235N/㎟, 275N/㎟, 295N/㎟, 325N/㎟）

□250×250～□450×450

2024年11月作成

アイエスケー株式会社
（大阪本社） TEL 06-6449-0881
FAX 06-6449-0877
（東京支店） TEL 03-6205-4144
FAX 03-5251-5226

1. 構造概要



8本ボルトタイプ

① アンカーボルト　② ベースプレート
③ 一種ナット（シングルナット）

※土間コンクリート等で被覆する場合は、シングルナットを標準仕様とする。
被覆されない場合は、ダブルナットまたは六角リングにて緩み止めを行う。

④ 丸座金　⑦ セットフレーム
⑤ 六角リング　⑧ セットアンカー
⑥ 定着板　⑨ モルタル（30~50mm）

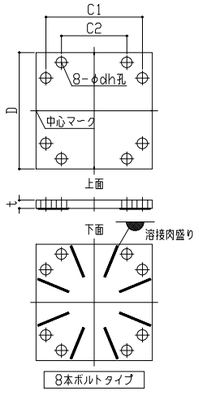
2. ベースプレート

2-1. 材質

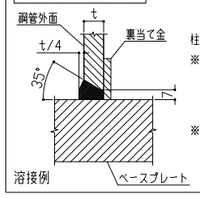
JIS G 3136 SN490B（t=40mm以下の場合のみ使用）
建築構造用認定鋼板 TMCP325B（板厚の制限なしで使用）

2-2. 形状と寸法

※ベースプレートは
〃中心マーク〃のある面が上面（鋼管取付面）
〃溶接突起〃のある面が下面（底面）



2-3. 柱材との溶接



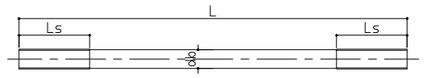
柱材とベースプレートの溶接は、完全溶け込み溶接とする。
※溶接施工に関しては、
「日本建築学会；建築工事標準仕様書 JASS 6鉄骨工事」
に準じる。

※柱材のめっき仕様について
柱材をめっきする場合は、
「SPT-Gタイプ」をご採用ください。

3. アンカー用ボルトセット

3-1. アンカーボルト

材料： 大臣認定材料（ISB740C, ISB740E）

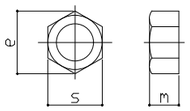


（mm）

品番	呼び径	ピッチ	dlo		L	Ls
			ISB740C	ISB740E		
A33	M36	4.0	33.15	33.0	775	130
A41	M42	4.5	38.92	38.8	745	145
A42					845	

3-2. ナット

種類： 1種六角ナット JIS B 1181
強度区分： JIS B 1052 8

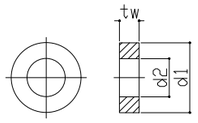


（mm）

呼び径	m	s	e
M36	29	55	63.5
M42	34	65	75.0

3-3. 丸座金

材質： 一般構造用圧延鋼材 SS400

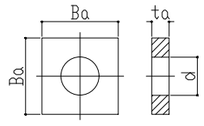


（mm）

呼び径	品番	d1	d2	tw
M36	C3	68	37	16
M42	C4	78	43	19

3-4. 定着板

材質： 一般構造用圧延鋼材 SS400

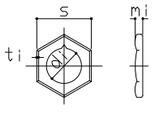


（mm）

呼び径	品番	Ba	ta	d
M36	P3	75	16	38
M42	P4	85	19	44

3-5. 六角リング

材質： JIS G3131 SPHC



（mm）

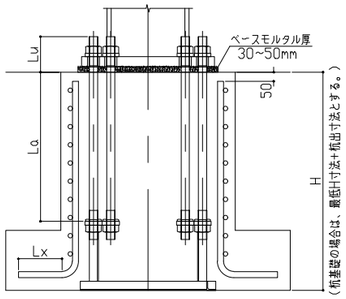
呼び径	S	di	mi	ti
M36	55	33.6	8	2.0
M42	65	39.2	9	2.3

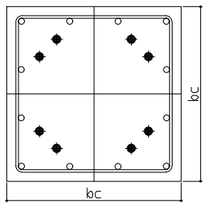
4. コンクリート柱形

4-1. 使用材料

コンクリート： Fc=21N/mm² 以上
鉄筋： JIS G 3112 SD295A（D16以下）
JIS G 3112 SD345（D19以上）

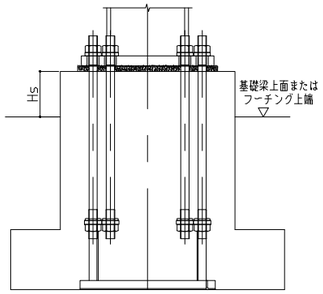
4-2. 形状・配筋





- 主筋頂部のフックは、設けないことを標準とする。
- トップフープは、シングルを標準とする。
- Lxは、使用する主筋呼径の10倍以上とする。
なお、Lxの定着方向は指定しないため、内側に向けても問題ないものとする。
- 主筋、帯筋の径・本数は、標準柱形の場合を示す。
- 柱形の幅（bc）を標準柱形より拡げた場合、検討が必要。
柱形を拡げる場合や、柱芯が偏心する場合は、弊社までご相談ください。

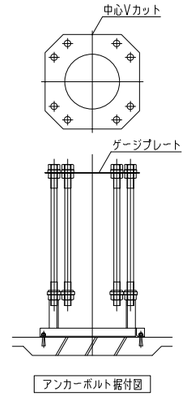
4-3. 基礎立上り部



- 柱形の配筋が標準の場合
基礎立上り高さ（Hs）は、250mm以下とする。
- 立上り高さ（Hs）が250mmを超える場合は、
検討が必要となるため、弊社までご相談ください。

5. 施工

※（ ）は、元請施工範囲を示す。
6.［コンクリート打設前検査］は、契約内容による。



アンカーボルト据付図

1. 施工打合せ
2.（捨てコンクリートの打設）…捨てコン厚さは100mm以上とする。
3.（墨出し）…柱芯を明示する。
4. アンカーボルト据付
5.（配筋・型枠）
ゲージプレートを外したり、上に物を置いたり、乗ったりしない。
アンカーボルトに熱を加えない。
アンカーボルトに熱を加えない。
6.［コンクリート打設前検査］
7.（コンクリート打設）
8.（鉄骨建方・アンカーボルトの本締）
まんじゅう高さは（30~50mm）とする。
まんじゅうに使用する材料に規定はない。
まんじゅうの大きさは施工マニュアルを参照。
9. ベースモルタルの充てん…ISグラウト以外は使用不可。
10. ナットの緩み確認
11.（充てん型枠脱型・廃棄）

6. 施工管理

- ISベースの施工（アンカーボルトの据付およびベースモルタルの充てん）は、弊社が認定した施工者が行う。
- 施工は、施工マニュアルに準じて行い、施工後「チェックシート」により許容範囲内にあることを確認する。
- 材料は弊社にて支給する。支給品以外の材料を使用した場合、ISベースの性能を保証できない場合がある。
- アンカー用ボルトセットは大臣認定材である。形状・寸法・材質の変更、切り欠き・溶接などの加工は認められない。

採用	柱脚記号（ベースプレート記号）	鋼管サイズ（mm）	適用鋼管（mm） ※柱材は、指定JIS規格品または大臣認定品とする。 柱材の基準強度（N/mm²） 235	275・295	325	ベースプレート D（mm）	C1（mm）	C2（mm）	dh（mm）	t（mm）	アンカーボルト 本数-呼び径（品番）	Lu（mm）	La（mm）	コンクリート柱形（標準） bc（最小～最大）（mm）	主筋	帯筋	Lx（mm）	コンクリート強度（N/mm²）	最低H寸法（mm） ※杭基礎の場合は（最低H寸法+杭出寸法）
	SPT251 (S4548T)	□250	t≦16	t≦16	-	480	380	230	φ50	45	8-M36（A33）	155	550	680~980	20-D22	D13@100	220	21以上	700以上
	SPT301 (S4052)	□300	t≦12	t≦12	t≦9	520	420	270	φ50	40	8-M36（A33）	150	550	700~840	24-D22	D13@100	220	21以上	700以上
	SPT302 (S4553T)		t≦16	t≦16	t≦12	530	420	250	φ58	45	8-M42（A41）	165	500	850~950	32-D25	D13@100	250	21以上	650以上
	SPT303 (S5057T)		t≦19	t≦19	t≦16	570	440	270	φ58	50	8-M42（A41）	170	500	850~950	32-D25	D13@100	250	21以上	650以上
	SPT351 (S4560T)	□350	t≦12	t≦12	t≦9	600	460	290	φ58	45	8-M42（A42）	165	600	810~1000	28-D22	D13@100	220	21以上	750以上
	SPT352 (S5062AT)		t≦16	t≦16	t≦12	620	500	330	φ58	50	8-M42（A42）	170	600	830~1150	28-D25	D13@100	250	21以上	750以上
	SPT401 (S4565T)	□400	t≦12	t≦12	t≦9	650	540	370	φ58	45	8-M42（A42）	165	600	860~1100	28-D25	D13@100	250	21以上	750以上
	SPT451 (S5073T)	□450	t≦12	t≦12	t≦9	730	620	450	φ58	50	8-M42（A42）	170	600	950~1260	32-D25	D13@100	250	21以上	750以上